

【2026 年第 6 号】

香港における IPO 市場の動向

2026 年 8 月 5 日

莫 敏儀 KELLY MOK

アジア法人営業部
香港法人営業 GR
ビジネスソリューション & アドバイザリー

T +852-2249-3938
E KELLY_MY_MOK@HK.MUFG.JP

株式会社 三菱 UFJ 銀行
MUFG Bank, Ltd.
(Incorporated in Japan with limited liability)
A member of MUFG, a global financial group

2025 年の香港株式 IPO 市場は大きく回復し、活況を呈した。香港証券取引所 (HKEX) によれば、2025 年の資金調達額は 2,858 億香港ドルに達し、香港は調達額ベースで 2019 年以来初めて世界首位へ振り返った。中国本土企業による上場案件や大型 IPO が市場を牽引し、香港資本市場の国際的な存在感が改めて示された。2026 年もこうした流れを背景に堅調なスタートを切っており、香港が国際資本市場におけるハブ機能を一層強化することが期待される。本稿では、香港における IPO 市場の現状を整理し、今後の展望・見通しについて考察する。

1. 2025 年香港 IPO 市場・2026 年上半年期香港 IPO 市場の振り返り

1.1 2025 年香港 IPO 市場の振り返り

香港 2025 年通年 IPO 調達額上位 10 社

	企業	業種	調達額 (HKD b)
1	Contemporary Amperex Technology Co., Limited (A+H)	工業	41.0
2	Zijin Gold International Company	エネルギー・天然資源	28.7
3	SANY Heavy Industry (A+H)	工業	15.3
4	Seres Group (A+H)	工業	14.3
5	Jiangsu Hengrui Pharmaceuticals (A+H)	ヘルスケア	11.4
6	Zhejiang Sanhua Intelligent Controls (A+H)	工業	10.7
7	Foshan Haitian Flavouring And Food Co. (A+H)	消費財	10.6
8	Chery Automobile	工業	10.4
9	Pony AI Inc.	テクノロジー・メディア・通信	6.7
10	Chuangxin Industries Holdings	工業	6.3

(KPMG Chinese Mainland and Hong Kong IPO Markets 2025 Review and 2026 Outlook)

2025 年の香港 IPO 市場は、数年にわたる低迷局面から反転し、好調なパフォーマンスを示した。HKEX によると、2025 年の香港市場における新規上場件数は 119 件、調達額は 2,858 億香港ドルに達し、調達額は前年比で約 210% 増加した。新規上場件数・調達額とも大幅に回復しており、世界最大の IPO 資金調達市場に振り返った香港が国際的な資本調達市場としての存在感を再び示した一年であったといえる。

市場回復を牽引した主な要因としては、大型 IPO 案件の復活、中国本土企業による香港での重複上場である A+H 上場の活発化、そして新経済セクターの成長が挙げられる。特に、A+H 上場は 2025 年の香港 IPO 市場における重要なトレンドとなり、香港市場全体の調達額の約半分を占めた。これにより、中国本土企業にとって、香港が引き続き海外資金調達および国際投資家へのアクセスを確保するための重要なプラットフォームであることが改めて確認された。

代表的な案件としては、中国の車載電池大手である寧徳時代新能源科技(CATL)が 2025 年 5 月に香港上場を果たし、410 億香港ドルを調達した超大型案件である。また、江蘇恒瑞医薬(Jiangsu Hengrui Pharmaceuticals)をはじめとする中国本土の有力企業による香港上場も相次ぎ、世界の大型 IPO 上位案件にも香港案件が複数入った。これらの動きは、香港市場が中国本土企業の国際化を支える上場市場として機能しているだけでなく、グローバル投資家にとっても中国の成長企業へ投資する重要な窓口であり続けていることを示している。

HKEX によると、セクター別では、2025 年の香港 IPO 市場では幅広い分野で資金調達が行われた。IPO 発行額の構成比では、工業・産業が最も大きく、全体の 53%を占めた。次いで、テクノロジー・メディア・通信が 21%、消費財・サービスが 13%、ヘルスケアが 11%、金融が 3%となっている。ヘルスケアおよびバイオテクノロジー分野が 2025 年に際立った成長を示し、「第 18A 章¹」を活用した収益化前のバイオテック企業の上場が 14 件となり、2024 年の 4 件から大きく増加した。

1.2 2026 年上半期香港 IPO 市場の振り返り

香港 2026 年上半期 IPO 調達額上位 10 社

	企業	業種	調達額 (HKD b)
1	Victory Giant Techno (HuiZhou) Co., Ltd (A+H)	テクノロジー・メディア・通信	23.1
2	Muyuan Foods Co., Ltd. (A+H)	消費財	12.1
3	Eastroc Beverage (Group) Co., Ltd. (A+H)	消費財	11.1
4	Lingyi iTech (Guangzhou) Company (A+H)	工業	8.3
5	Montage Technology Co., Ltd. (A+H)	テクノロジー・メディア・通信	8.1
6	Dajin Heavy Industry Co., Ltd. (A+H)	工業	6.6
7	Shanghai Biren Technology Co., Ltd	テクノロジー・メディア・通信	6.4
8	Shenzhen Han's CNC Technology Co., Ltd. (A+H)	工業	5.6
9	MiniMax Group inc.	テクノロジー・メディア・通信	5.5
10	GigaDevice Semiconductor Inc. (A+H)	テクノロジー・メディア・通信	5.4

(KPMG Chinese Mainland and Hong Kong IPO Markets 2026 Mid Year Review)

2026 年前半の香港 IPO 市場は、2025 年からの回復基調を引き継ぎ、力強いスタートを切った。2026 年上半期の新規上場件数は 85 件と、前年同期比で 102%増加し、資金調達額も 2,099 億香港ドルと前年同期比で約 92%増加し、いずれも大幅な成長を記録した。また、A+H 上場は 24 件に達し、調達額ベースでも約 7 割を占めており、中国本土企業によるクロスボーダー資金調達の重要なチャネルとしての役割が一段と強まっている。複数の 100 億香港ドル超案件が登場していることから、香港 IPO 市場は引き続き大型案件を受け入れる十分な市場基盤を有しており、H 株上場を中心に中国本土企業の重要な資金調達プラットフォームとしての役割を維持していることが示されている。

¹ HKEX のメインボード上場規則において、まだ利益や収益が出ていない未収益のバイオテクノロジー企業が上場できるように、2018 年に新設された特別な上場基準・制度

セクター別では、上場企業の顔ぶれにおいてテクノロジー関連企業を中心とする市場構造へと大きくシフトしている。2026 年上半期の香港 IPO 市場では、テクノロジー・メディア・通信業界が新規上場件数・資金調達額の双方で市場を牽引した。新規上場件数では、テクノロジー・メディア・通信が全体の 49%を占め、前年同期の 12%から大幅に拡大した。次いで、医療・医薬業界と製造がそれぞれ 18%、消費財が 11%となっており、テクノロジー関連企業を中心とする市場構造へと大きくシフトしている。²

2026 年 6 月 26 日時点で、香港市場における IPO パイプラインは 500 件以上³に達し、高水準で推移している。特に、TMT、ヘルスケア・ライフサイエンス、工業分野における申請企業の積み上がりは、2026 年後半以降の IPO 市場を支える重要な要素となる可能性がある。

一方、イーロン・マスク氏率いる米宇宙開発企業 SpaceX は、2026 年 6 月 12 日に米ナスダック市場に IPO を果たした。調達額は約 857 億米ドルに達し、世界の IPO 史上最大の歴史的案件として記録されている。2026 年第 1 四半期は、香港が IPO 調達額で世界首位を維持したが、今回の SpaceX の上場を受け現在はナスダックが首位となり、2026 年前半香港の IPO 市場は世界第 2 位へと順位が変動している。

2. 香港 IPO 市場が活発化している背景

中国本土企業による国際資金調達ニーズの高まりを背景に、香港上場への関心が一段と強まっている。香港市場を活用することで、中国企業は国内資金プールと国際資本市場の双方へアクセスでき、単一市場への依存リスクを分散することが可能となる。また、香港上場は単なる資金調達手段にとどまらず、海外事業展開、技術買収、グローバル戦略の推進、さらにはブランド認知度向上を実現するための戦略的プラットフォームとしての役割を果たしている。特に A+H 上場の増加は、香港が中国企業の海外展開を支える重要な国際金融ハブとしての機能を強化していることを示している。

加えて、地政学的環境や規制動向も香港市場の活性化を後押ししている。米中関係の緊張や米国における上場規制の強化を背景に、中国企業にとって米国市場への依存度は相対的に低下している。その結果、国際資本へのアクセスを維持する主要な市場として、香港は中国企業にとって最も重要なオフショア資本市場としての役割を強化していると言える。

こうした市場環境の改善に加え、香港 IPO 市場の活性化を支えているもう一つの重要な要素が、香港取引所による上場制度の継続的な整備である。例えば、革新企業向けの上場制度の柔軟化、昨年導入された Technology Enterprises Channel (TECH)⁴制度ならびに各種テクノロジー指数の整備や大型 A 株企業に対する上場審査の迅速化といった一連の規制改革が打ち出されている。特に、バイオテック企業向けの「第 18A 章」および AI、半導体、ロボティクスなど特定専門技術企業向けの「第 18C 章」は、収益実績や従来の財務指標だけでは評価しにくい成長企業に対し、香港市場での資金調達機会を広げる制度として注目されている。こうした制度整備は、香港 IPO 市場の回復を支え

² [Deloitte 1H 2026 review and outlook of the Chinese mainland and Hong Kong](#)

³ [KPMG Chinese Mainland and Hong Kong IPO Markets 2025 Review and 2026 Outlook](#)

⁴ HKEX が 2025 年に創設した、第 18A 章（バイオテック企業）および第 18C 章（専門テクノロジー企業）の上場申請を支援する制度。専門チームによる事前ガイダンスや機密申請制度を提供し、上場準備・審査の円滑化を図る。

るだけでなく、AI、半導体、バイオテクノロジーなど成長分野の企業誘致を後押ししており、香港市場の競争力向上につながっている。

第 18A 章・第 18C 章の概要⁵（抜粋）

メインボード上場基準 第 18A 章(バイオテクノロジー企業向け)の概要（抜粋）	
導入時期	2018 年 4 月
対象	バイオ医薬品、医療機器、診断技術など、バイオテクノロジー製品の研究開発・応用・商業化を主な事業とする企業
売上・利益要件	- 最低売上高・利益に関する数値要件はない - 通常の利益基準、時価総額・売上高・キャッシュフロー基準等を満たしていない企業でも申請可能
上場時想定時価総額	15 億香港ドル以上
主な要件	- 最低でも 1 つのコア製品が概念実証段階を超えていること（製品区分に応じて、一定段階以上の臨床開発・承認プロセスに到達していること） - コア製品の開発を目的として研究開発を主に行い、上場前 12 か月間も研究開発を継続していること - コア製品に関する特許・特許出願その他の知的財産権を有すること - 原則として上場予定日の 6 か月以上前に、少なくとも 1 社の専門投資家から相応の第三者投資を受け、その投資が IPO 時まで維持されていること - 現在の事業分野において、少なくとも 2 会計年度の事業実績があり、実質的に同一の経営陣の下で運営されていることなど

メインボード上場基準 第 18C 章(特定専門技術企業向け)の概要（抜粋）			
導入時期	2023 年 3 月		
対象	- 特定の先端技術を活用した製品・サービスについて、主に研究開発、商業化または販売を行う企業 - 対象分野は、①次世代情報技術、②先進ハードウェア・ソフトウェア、③先進材料、④新エネルギー・環境保護、⑤新食品・農業技術の 5 分野		
直近事業年度の売上高	収益化前の企業の場合		収益化済の企業の場合
	1.5 億香港ドル未満	1.5 億香港ドル以上	2.5 億香港ドル以上
上場時想定時価総額	80 億香港ドル以上（2027 年 8 月 31 日までの暫定基準） 100 億香港ドル以上（通常基準）		40 億香港ドル以上（2027 年 8 月 31 日までの暫定基準） 60 億香港ドル以上（通常基準）
上場前 3 事業年度の事業費用に占める研究開発費の割合	上場前 3 事業年度の合計ベースで基準を満たすことに加え、3 事業年度のうち少なくとも 2 年度について各年度ベースでも基準を満たす		
	50%以上	30%以上	15%以上
主な要件	原則として上場前 3 会計年度以上、特専科技製品の研究開発に従事していること		

⁵ [Chapter 18A Biotech Companies | Rulebook](#), [Chapter 18C Specialist Technology Companies | Rulebook](#)

- 専門性を有する独立投資家から相応の投資を受けていること
- 原則として現在の事業について 3 会計年度以上の営業実績があり、実質的に同一の経営陣の下で運営されていること

3. まとめ

2026 年上半期の香港 IPO 市場は、世界 IPO 資金調達ランキングで引き続き上位を維持し、香港が中国本土企業と国際資本を結ぶ主要な資金調達プラットフォームとしての地位を改めて示す結果となった。特に、TMT、AI、半導体、ロボティクス、バイオテックなどのニューエコノミー企業が、上場件数・調達額の双方で大きな存在感を示しており、香港市場は従来の金融・不動産・消費中心の市場から、テクノロジー・先端製造主導型の資本市場へと構造転換しつつある。この変化は、香港が中国本土企業の国際資金調達拠点であるだけでなく、アジアにおけるイノベーション企業の成長資金を呼び込むプラットフォームとして再評価されていることを示している。

2026 年後半についても、香港 IPO 市場は上半期の回復基調を背景に、引き続き一定の活況を維持することが期待される。ハードテクノロジー、半導体、消費、ヘルスケア、化学、通信などの分野では、100 億香港ドル以上を調達する大型案件が複数予定されている。また、2026 年 6 月末時点で 500 件を超える活発な上場申請が存在し、その中には 100 社超の A 株、約 4 分の 1 のテクノロジー企業、約 5 分の 1 のハイエンド製造企業が含まれている。こうした豊富な上場申請パイプラインを踏まえ、各コンサルティング機関も、2026 年通年の香港 IPO 市場の調達額は 3,000 億～3,800 億香港ドル規模に達し、世界 IPO 市場のトップ 3 入りを果たすと予測している。

個別案件では、腎疾患治療薬を手掛ける礼邦医薬が「第 18A 章」を活用し、2026 年 6 月 29 日に香港証券取引所に上場し、約 13 億香港ドルを調達した。また、Apple の主要サプライヤーである立訊精密工業(Luxshare Precision)については、2026 年 7 月 9 日にも香港証券取引所に上場し、資金調達額は 242 億香港ドル規模に達し、現時点で 2026 年の香港 IPO 調達額として最大となる。さらに、中国の SNS 大手である小紅書(Rednote)についても、香港証券取引所への秘密裏の IPO 申請を進めていると複数メディアが報じており、実現すれば近年の香港市場における大型 IPO 案件の一つとなる可能性がある⁶。

もっとも、IPO 市場の回復は、すべての上場企業にとって良好な上場後パフォーマンスを保証するものではない。香港市場では、調達額や上場件数が回復する一方で、上場後に株価が低迷する銘柄も見られており、流動性、バリュエーション、株価ボラティリティが引き続き課題として指摘されている。特に、大型案件や注目度の高いテーマ銘柄では、上場前の期待値が高まる一方、上場後に業績見通しや収益化の実現性が厳しく評価されることで、株価が調整するリスクもある。今後は上場後の株価パフォーマンスの二極化が進む可能性がある点に留意が必要である。

こうした環境下で、香港 IPO 市場の活性化は、日系企業にとって単なる金融市場の回復ではなく、中国・アジアの成長企業や有望産業の動向を把握する重要な機会となる。特に、ヘルスケア、バイオテック、AI、先進製造などの分野では、香港市場を通じて資金調達動向や成長戦略を把握することで、提携や M&A、投資機会の発掘につなげることが可能である。また、香港は海外資金調達や中国・ASEAN 市場への展開を検討するうえでも有力な選択肢であり、今後も中国・アジアの成長を捉える戦略的な市場として、その動向を注視していきたい。

以上

⁶ ただし、同社が IPO 関連の情報は「事実ではない」と回答したと報じられており、上場計画の有無は現時点では明らかになっていない

	発行日	タイトル
2026 年第 5 号	2026/5/22	広東省第 15 次五カ年計画（2026～30 年）
2026 年第 4 号	2026/3/30	香港における AI 政策の現状について
2026 年第 3 号	2026/3/12	香港医薬品の承認制度の改革

当室が発行した過去のニュースフォーカスについて、以下のリンクよりご参照：

（日本語） https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/Archive_JPN.pdf

（英語） https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/Archive_ENG.pdf

- These materials have been prepared by MUFG Bank, Ltd. ("the Bank") for information only. The Bank does not make any representation or warranty as to the accuracy, completeness or correctness of the information contained in this material.
- Neither the information nor the opinion expressed herein constitute or are to be construed as an offer, solicitation, advice, or recommendation to buy or sell deposits, securities, futures, options or any other financial or investment products. The Bank [MUFG Bank] is a licensed bank regulated by the Hong Kong Monetary Authority and registered with the Securities and Futures Commission to carry out Type 1 and Type 4 regulated activities in Hong Kong.
- All views herein (including any statements and forecasts) are subject to change without notice, its accuracy is not guaranteed; it may be incomplete or condensed and it may not contain all material information concerning the parties referred to in this material. None of the Bank, its head office, branches, subsidiaries, and affiliates are under any obligation to update these materials.
- The information contained herein has been obtained from sources the Bank believed to be reliable, but the Bank does not make any representation or warranty nor accept any responsibility or liability as to its accuracy, timeliness, suitability, completeness, or correctness. Therefore, the inclusion of the valuations, opinions, estimates, forecasts, ratings, or risk assessments described in this material is not to be relied upon as a representation and / or warranty by the Bank. The Bank, its head office, branches, subsidiaries and affiliates and the information providers accept no liability whatsoever for any direct or indirect loss or damage of any kind arising out of the use of all or any part of these materials.
- Historical performance does not guarantee future performance. Any forecast of performance is not necessarily indicative of future or likely performance of any product mentioned in this material.
- The Bank retains copyright to this material and no part of this material may be reproduced or re-distributed without the written permission of the Bank and the Bank, its head office, branches, subsidiaries, or affiliates accepts no liability whatsoever to any third parties resulting from such distribution or re-distribution.
- The recipient should obtain separate independent professional, legal, financial, tax, investment, or other advice, as appropriate.

Copyright 2026 MUFG Bank, Ltd. All rights reserved.